

みんなで考える

# アニマルウェルフェア を普及させるための第一歩！

シンポジウム

×

ワークショップ

全3回講座

第1回【生産者との対話】

畜産物  
×  
倫理的消費

【第1回】

日時

2021 9.23 (木・祝) 13:00 開始

参加費無料

オンライン開催

開催形式

Zoomミーティングによるオンライン配信 ◆定員:100名 (事前申込制)

※当初、対面とオンラインのハイブリッド開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、第1回につきましてはオンライン配信のみの開催に変更することにいたしました。

アニマルウェルフェア(Animal Welfare)という言葉やその考え方を国内で浸透させるために何が必要となるのか、参加者の皆さんと一緒に話し合うことで、日本でアニマルウェルフェアを実施するための課題抽出と解決策を市民の視点で考えていきます。

タイムライン

13:00～ 挨拶・趣旨説明  
13:10～ 講演① アニマルウェルフェアとは  
14:00～ 講演② 事例紹介(牛・豚・鶏)  
14:45～ パネルディスカッション／質疑応答  
15:15～ 総評・次回の案内

<会場参加者のみ>

15:30～AWに関する試食

※感染防止対策を徹底した上で実施いたします。

★第1回  
参加申込は  
こちら



★第2回【消費者との対話】 10月30日(土)  
★第3回【企業との対話】 12月18日(土)





## 開催趣旨

アニマルウェルフェア(AW)とは、「動物の生活や死(食用目的の殺や疾病管理目的の安楽殺)」という状況における動物の肉体的および精神的状態」と国際的に定義されています。人類による動物利用(家畜、実験動物、展示動物、伴侶動物など)を認めつつも、前述の状況に際して、可能な限り苦痛を排除しようとするものです。国連食糧農業機関(FAO)でも、持続可能な家畜生産の手法の一つに、アニマルウェルフェアを位置づけ、アニマルウェルフェアへの対応は世界的な流れになっています。農林水産省では、アニマルウェルフェアに配慮した家畜飼育を推進すべく通知が発出されているところです。

このような社会背景の中、アニマルウェルフェア畜産物転換への流れは、遅かれ早かれ、我が国の畜産物流通にも影響をもたらすと考えられます。すでに外資系食品メーカーのうち数社は、アニマルウェルフェア畜産物の利用を表明しており、日本においても同様の対応を取るようになってきています。国内食品企業でも、自社で取り扱う畜産原材料に対して、アニマルウェルフェアの重要性を示し、アニマルウェルフェアに配慮された畜産物を扱うことを表明し始めました。現在、日本での取り組みは緒に就いたばかりで、アニマルウェルフェア畜産物の国内生産基盤は脆弱です。今後、食品メーカーの取り扱いが増えることを考えると、それらの供給は輸入品にとって代わる可能性もあります。

そのため、日本における畜産物の国内需給、ならびに海外輸出展開において、アニマルウェルフェア畜産物の取り扱いを考えていくにあたり、生産者のみの頑張りでは対応できず、生産から消費までのフードチェーンにおいて共通の意識の下、取り組んでいく必要があると考えます。そして、フードチェーンの中でアニマルウェルフェア畜産物を扱っていくとき、どこのセクション(例えば、生産、流通、加工、小売り、消費など)で、どのような課題を抱え、そして、何がボトルネックとなっているのかを整理する必要があります。本ワークショップでは、関係する方々のお話を聞き、アニマルウェルフェアを長野県、ひいては日本全国に普及、浸透させるためには何をすべきなのかについて、市民の皆さんと一緒に考えていきます。

## 発起人



信州大学農学部 竹田 謙一

2000年信州大学農学部助手を経て、2008年より准教授。この間、山梨県酪農試験場客員研究員を併任。専門は、応用動物行動学、家畜管理学。動物福祉(アニマルウェルフェア)に配慮した家畜の飼養管理に興味を持って、研究を進めています。

## 参加申し込み 参加費無料

下記の専用申し込みフォームまたはWebページから事前申し込みをお願いいたします。配信に関する詳細情報は申し込み後にメールにてお知らせします。

### 専用申し込みフォーム

<https://forms.gle/xAe3Dy8hCrTtYuJAN8>



### Webページ

信州リビングラボ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/project/livinglab/>



# みんなで考える アニマルウェルフェア を普及させるための第一歩!

## プログラム (全3回講座)

★第1回【生産者との対話】 9月23日(木・祝)

★第2回【消費者との対話】 10月30日(土)

★第3回【企業との対話】 12月18日(土)

※第1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン配信のみの開催となりますが、第2回・第3回は今後の感染状況を踏まえながら、可能であれば対面の同時開催も検討してまいります。

## 第1回 予定表

13:00 - 挨拶・趣旨説明

13:10 - 講演

①「アニマルウェルフェアとは」(45分)  
信州大学農学部 竹田 謙一

14:00 - ② 事例紹介 (15分×3名)

アニマルウェルフェアに関する生産者の捉え方と、実践と課題についてお話しいただきます。

- ・八ヶ岳中央農業実践大学校 佐藤 衆介氏
- ・会田共同養鶏組合 上村 博文氏
- ・株式会社三村牧場 三村 誠一氏



14:50 - パネルディスカッション／質疑応答

【テーマ】生産者の視点においてアニマルウェルフェアを普及・浸透させるためにすべきこととは

【ファシリテーター】信州大学農学部 竹田謙一

【パネラー】八ヶ岳中央農業実践大学校 佐藤衆介氏  
会田共同養鶏組合 上村博文氏  
株式会社三村牧場 三村誠一氏

15:20 - 総評・次回の紹介

※以上は予定につき、変更になることもございます。

## お問い合わせ

### 信州リビング・ラボ事務局

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号  
信州地域技術メディカル展開センター1階  
TEL: 0263-37-2067 FAX: 0263-37-2076  
E-mail: [living-lab@shinshu-u.ac.jp](mailto:living-lab@shinshu-u.ac.jp)



### 主催

信州大学 農学部  
信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 信州リビング・ラボ事業

### 共催

アニマルウェルフェア飼育技術(牛)コンソーシアム  
「知」の集積と活用場® 次世代家畜生産の研究開発プラットフォーム

### 後援(予定)

長野県  
伊那市  
信濃毎日新聞社  
公益財団法人 農村更生協会 八ヶ岳中央農業実践大学校  
信州地鶏の会  
伊那谷アグリイノベーション推進機構

